

熊本県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成28年12月9日(金) 県庁本館5階審議会室	
出席委員氏名	秋野 裕子 (公財)地方経済総合研究所 主任研究員) 井口 由美子 (熊本県行政書士会長) 大脇 成昭 (熊本大学法学部 准教授) 柿本 竜治 (熊本大学院自然科学研究科 教授) 渡辺 千賀恵 (東海大学 名誉教授)	
審議対象期間	平成28年7月1日 ~ 平成28年9月30日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
一般競争入札	件	
条件付一般競争入札	3件	
指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
談合情報	2件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申の内容	なし	なし

意見・質問	回答
<p>1 会議の公開・非公開（一部）の決定</p> <p>○熊本県入札監視委員会運営要領によると、「委員会は公開・非公開を決定するものとする」とあり、平成25年度から審議の一部を公開している。今回も議事の公開・非公開について、事務局から提案がっている。</p> <p>「議事（4）抽出事案の審議のうち総合評価の判定に係る審議部分と、「議事（5）委員間の意見交換」を非公開とすることについて</p> <p>○異議なし。</p> <p>○「「議事（4）抽出事案の審議のうち総合評価の判定に係る審議部分と、「議事（5）委員間の意見交換」については非公開と決定</p> <p>2 入札及び契約手続の運用状況の報告</p> <p>【H26～28年度上半期別別熊本県発注工事の入札結果の推移（資料1）】</p> <p>○特になし</p> <p>【平成25～28年度の入札不調等の発生状況について（資料2）】</p> <p>○27年度の不調等は年間で26件、10月末時点では9件発生している。この比率からいうと、28年度は10月末では41件のため約120件程度になる見込みか。</p>	<p>（事務局の提案）</p> <p>○委員会でを行う審議のうち、公開できない部分について事前に事務局で検討したので説明する。まず、「議事（4）抽出事案の指名理由及び経緯等の審議」のうち「総合評価判定に使用している「総合評価判定シート」については、「公にすることにより当該法人等又は当該個人等の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれ」に該当するため、また、「議事（5）委員間の意見交換」もついて、今後の意見書作成に向けて委員間の率直な意見交換を行うものであり、審議会等の会議の公開に関する指針第3公開の基準「公正又は円滑な審議等が著しく阻害され、会議の目的が達成できないと認められるとき」に該当し、非公開と考えている。</p> <p>（報道関係者入室）</p> <p>（事務局）別添資料1～4を報告</p> <p>○熊本地震により27年度よりも多くなる見込み（平成28年度11月末時点では75件）</p>

意見・質問	回答
<p>【入札契約方式別発注契約工事一覧（資料3）】 ○特になし</p> <p>【指名停止等の運用状況一覧表（資料4）】 ○特になし</p> <p>3 談合情報及び県の対応状況の審議（資料5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川河川激甚災害対策特別緊急（小倉遊水地周囲堤4）工事 ・黒川河川激甚災害対策特別緊急（輪中堤3調整池2）工事 <p>○入札を取止めた後、2件については、改めて入札を行ったか。</p> <p>○改めて入札を行った際に、最初の入札参加者は参加しているか。</p> <p>○現在の規定で談合の疑いにより取止めた場合、次の入札には参加できないというルールがあるか。</p> <p>○疑わしい事例は中止せざるを得ない。今回、入札を取止めたことは妥当な措置だった。</p> <p>4 抽出事案の指名理由及び経緯等の審議【審議対象工事の抽出について（資料6）】 ○抽出担当柿本委員から説明</p> <p>【審議対象工事（資料7）】 【共通質問】 ○様式中の入札の経緯及び結果欄は税込みで表示されているが、統一したらどうか。</p>	<p>○改めて入札（条件付一般競争入札）を行った。</p> <p>○疑義のあったA社とB社は参加していない。</p> <p>○規定はない。</p> <p>○両方記載することとする。</p>

意見・質問	回答
<p>(1) 平成28年度熊本地震災害廃棄物二次仮置場(混廃処理ヤード)工事</p> <p>○3者JVの組み方について、発注者が指定したのか。</p> <p>○随意契約とし見積を徴して最低の価格の者を落札者としているので、手順としては入札と同じという印象を受けるが、随意契約との違いは何か。JVを結成する期間、見積りを提出する期間は何か。</p> <p>○代表構成員3者について、自社以外の情報を知り得るか。</p> <p>○全者予定価格同額となった場合(同一価格)の場合はどうなるのか。</p> <p>○形式だけの相見積ではないか。地震により随意契約の発注も増えてくるが、随意契約において、これまで指名競争入札と同様、談合が有り得ると議論したことがあるか。(問題提起)</p> <p>(2) 天明新川広域河川改修(社会資本)工事</p> <p>○47者から地理的要因(本店等の所在地)だけで10者に絞り込んでいるのか。</p> <p>○河川工事の場合、履行場所の区間が年度で変わることが多いが、業者も選定範囲も移っていくのか。</p> <p>○入札指名業者調書中で指名回数は3回となっているが、契約回数が4回となっているのはなぜか。</p> <p>○契約回数について、業者選定の際には考慮しないのか。</p> <p>○契約回数が多いから次は選定しないという機械的に指名するよりも、現状のように工事ごとに選定条件を考慮する方がいい。(コメント)</p>	<p>○代表構成員はA1としたが、構成員(A2)については、指定していない。</p> <p>○今回の見積通知から契約までは2週間、指名競争入札だと3週間以上要する。今回の工事は急を要するため随意契約とした。</p> <p>○公表しているため知り得る。</p> <p>○電子入札システムで電子くじを行う。</p> <p>○指名競争入札と同じく有り得るが事例はない。</p> <p>○工事履行場所から近いところの業者を選定した。</p> <p>○履行場所により変わることもある。</p> <p>○契約回数の中には、一般競争入札、随意契約も含む。</p> <p>○技術力を重視する場合もあるのでケースバイケース。地理的物件でまず業者を選定し、絞り込む際に指名回数、契約回数、手持工事量を考慮することもある。</p>

意見・質問	回答
<p>(3) 牛深漁港水産物供給基盤機能保全(被覆防食その2)工事 他合併</p> <p>○本工事は「その2」だが、同日開札の「その1工事」も落札している。これまで同一工事との工区分割の場合、どちらかひとつだけを落札していたようだが、今回は違うのか。</p> <p>○落札業者以外にも両方にエントリーした社はあるか。</p> <p>○同日開札の複数工事にエントリーしていたが、たまたま複数工事を落札し履工できない場合はどのように取扱っているか。</p> <p>○(同一の技術者を配置した場合) 応札した業者が工事を選択できるのか。</p> <p>○複数工事を同時発注したときの総合評価の技術点の配点はどうか。入札金額は異なるが、複数工事について技術評価点が同じになる。現在のルールは分かるが、単独で配置する場合と兼任する場合を同じにしているのかという疑問は残る。(コメント)</p> <p>○同一日入札であっても、今回の入札のように単独の工事として扱い同じ会社が落札者となるケースと、事務局から説明があったように、工区分割ではないが、同一技術者を配置する場合、複数の工事の落札者となった場合は、金額の高い工事の落札者となる相容れない2つのケースがある。どちらの発注方法をとるのかは発注機関によるということであった。(コメント)</p>	<p>○工事名称は、「その1」「その2」となっているが、今回の工事は、別の工区(300Mほどの近接地)であり、同一工事を分けたものではない。同日開札でそれぞれ公告し、業者も両工事を施工できるということで応札した。</p> <p>○7社全て両方にエントリーしていた。</p> <p>○工区分割の場合は、公告において落札決定順位の条件(落札決定順位が上位の工事で落札者となった場合は他の工区では落札者とならない)を付する。また、工区分割ではなく単独工事ではあるが、発注した災害関連の河川の一連工事約20本の工事において、同一開札日とし、複数エントリーを可能とした。この場合、複数の工事に同一の技術者を配置する場合は、金額の高い工事の落札者となり、他の工事の落札者とはならないが、別の技術者を配置する場合は、複数の工事の落札者となるという条件を付した。</p> <p>○県が金額の高い順に落札者を決定する。</p> <p>○同一技術者の配点は、複数工事について同じ。</p>

意見・質問	回答
<p>(4) 熊本駅周辺連続立体工事業（負担金）防球ネット及び水路工事 ○2回とも1者入札となった要因は何か。</p> <p>○落札業者は、以前に防球ネットを仮移設したときと業者と同じか。</p> <p>(5) 熊本合志警察署（仮国道445号（下鶴）28年発生道路災害復旧応急工事 ○辞退している会社があるが理由は何か。</p> <p>総合評価判定シート</p> <p>(3) 牛深漁港水産物供給基盤機能保全（被覆防食その2）工事 他合併 (4) 熊本駅周辺連続立体工事業（負担金）防球ネット及び水路工事 (5) 熊本合志警察署（仮国道445号（下鶴）28年発生道路災害復旧応急工事</p> <p>○非公開部分</p> <p>5 委員間の意見交換 【第1回熊本地震等復旧・復興工事連絡会議について】 ○特になし</p> <p>6 次回の入札監視委員会について ○資料9により候補日選出</p>	<p>○地震により各社の手持ち工事量が増えたこと、JRの工事管理者資格認定証を有する資格者を在来線は2人以上、新幹線は1人以上雇用し専任で配置することが条件だったこと、工事を履行するに当たりJRとの調整が難しいこと等が考えられる。</p> <p>○異なる。</p> <p>○金額条件が厳しいとのことだった。</p>